

Dr.David G.Armstrong と Dr.John S.Steinbergを インターナショナルアドバイザーボードメンバー としてお迎えいたしました！



David Armstrong, PhD, DPM



John S.Steinberg, PhD, DPM

著名な足病医で、南カリフォルニア大学の足病外科のDavid G.Armstrong教授と、ジョージタウン大学医学部の足病医研修プログラムのディレクターであり、形成外科の教授も兼任するJohn S. Steinberg教授のおふたりに、この度下北沢病院のインターナショナルアドバイザーボードとして就任いただきました。今後は定期的なカンファレンスを行うとともに、当院の足病教育プログラムの作成にも協力して頂きます。



John S. Steinberg, PhD, DPM

John S. Steinberg, DPM（足病医の資格）は、米国足病外科委員会によって認定された足病外科における専門医で、ワシントンDCにあるGeorgetown大学病院創傷治癒センター教育プログラムの共同ディレクターであり、Washington病院の足病医研修プログラムのディレクター、ジョージタウン大学医学部の形成外科の教授でもあります。全米足病外科学会（ACFAS）の第67代理事長も務めたアメリカのトップ足病医の一人でもあるSteinberg教授に、この度下北沢病院のインターナショナルアドバイザリーボードの1人として就任いただきました。

John S. Steinberg, DPMからのメッセージ

2021年5月。インターナショナルアドバイザリーボード就任記念講演として、下北沢病院スタッフ向けに「Advanced Options in Surgical Offloading for the Foot」と題した講演を行っていただき、アメリカにおける最新の足病医療に関する情報を共有いただきました。



David Armstrong, PhD, DPM



David Armstrong, DPM（足病医の資格）は。米国足病外科委員会によって認定された足病外科における専門医で、南カリフォルニア大学の足病外科の教授です。Armstrong教授は、ウェールズ大学医学部で組織修復と創傷治癒の理学修士を取得し、マンチェスター大学医学部で博士号を取得し、医学の客員教授にも任命されました。また彼は、Southwestern Academic Limb Salvage Alliance (SALSA) の創設者兼共同ディレクターでもあります。米国でも著名な足病医であるArmstrong教授に、この度下北沢病院の国際アドバイザーボードの1人として就任いただきました。

David Armstrong, DPMから下北沢病院へのメッセージ

現在、世界では20秒に1人が糖尿病が原因で足を切断されています。その方々の5年生存率は大多数のがん患者の5年生存率よりも低いのです。欧米において、足病医の診療により下肢切断を80%も減少させることができると分かっています。だからこそ私はこの足病医療を核とした、アジアで初めての足の総合病院である下北沢病院にアドバイザー代表の一人として参画することを決意いたしました。下肢切断や歩行不能となる症例を1例でも減らすことが足病医の願いであり、私自身の喜びでもあります。

これから先、下北沢病院は日本国内にとどまることなく、アジア、そして世界で足病医療の先導者的存在となり、足を患う人々を希望の明かりで照らし、足病と闘い続けていくのです。

